

資料2-3

広陵町地域公共交通計画に定める指標の達成状況について

項 目	評 価 内 容	評 価 内 訳	単 位	計画策定時	目 標	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率(%)	備 考
鉄道	鉄道利用者数	近鉄箸尾駅	万人/年	37	↗ 増加	37.7	32	33	32	84.9%	近畿日本鉄道株式会社に確認
鉄道	鉄道利用者数	近鉄大和高田駅	万人/年	301	↗ 増加	307	266	273	270	87.9%	近畿日本鉄道株式会社に確認
鉄道	鉄道利用者数	近鉄五位堂駅	万人/年	519	↗ 増加	529	451	473	476	90.0%	近畿日本鉄道株式会社に確認
鉄道	鉄道利用者数	近鉄松塚駅	万人/年	21	↗ 増加	21.4	20	21	19	88.8%	近畿日本鉄道株式会社に確認
路線バス	路線バスの利用者数	真美ヶ丘線・王寺五位堂線	人/日	3,455	↗ 増加	3,500	4,009	4,326	4,300	122.9%	奈良交通株式会社に確認（速報値）
路線バス	路線バスの利用者数	竹取公園東系統	人/日	492	↗ 増加	500	612	640	640	128.0%	奈良交通株式会社に確認（速報値）
路線バス	路線バスの近鉄五位堂駅及び大和高田駅接続便数	近鉄五位堂駅	便	325	→ 維持	325	325	322	322	99.1%	令和5年度から変更無し
路線バス	路線バスの近鉄五位堂駅及び大和高田駅接続便数	近鉄大和高田駅	便	40	→ 維持	40	40	40	40	100.0%	令和3年度から変更無し
路線バス	路線バスの運行費補助額	高田新家線	円	1,325,000	→ 維持	1,325,000	3,640,500	4,257,000	3,810,500	-65.2%	補助額の算定方法が令和4年度から変更となっている。
路線バス	路線バスの運行費補助額	高田イオンモール線	円	2,982,500	→ 維持	2,982,500	297,500	297,500	0	目標を大幅に達成	補助額の算定方法が令和4年度から変更となっている。
広陵元気号	広陵元気号の利用目的別利用者数	通勤・通学（駅）	人/年	15,016	↗ 増加	18,019	17,233	13,853	17,110	95.0%	①中央幹線における近鉄高田駅 ②のーと広陵元気号における箸尾駅
広陵元気号	広陵元気号の利用目的別利用者数	商業施設	人/年	13,103	↗ 増加	15,724	16,142	14,917	13,001	82.7%	①イズミヤ広陵店②コープ なんごう ③エバグリーン広陵店④真美ヶ丘センター ⑤長龍ブリュパーク⑥ドラッグコスモス広陵店 ⑦DCM 広陵店
広陵元気号	広陵元気号の利用目的別利用者数	病院（国保中央病院）	人/年	903	↗ 増加	1,084	700	863	1,173	108.2%	国保中央病院
広陵元気号	広陵元気号の利用目的別利用者数	公共施設	人/年	13,575	↗ 増加	16,290	16,981	15,892	17,047	104.6%	21箇所の公共施設を設定
広陵元気号	広陵元気号の運賃収入	総額	円	3,878,050	↗ 増加	4,600,000	4,785,200	4,380,640	5,880,920	127.8%	中央幹線運賃収入得：3,572,380円 のーと広陵元気号運賃収入：2,308,540円
広陵元気号	広陵元気号の運賃収入	現金	円	1,569,770	↗ 増加	-	2,007,170	2,225,960	3,211,300	-	収支全体の54.6%
広陵元気号	広陵元気号の運賃収入	ICカード	円	1,348,380	↗ 増加	-	1,782,680	1,490,170	1,758,650	-	収支全体の29.9%
広陵元気号	広陵元気号の運賃収入	スマホ決済	円	22,900	↗ 増加	-	32,850	133,010	416,470	-	収支全体の7.1%
広陵元気号	広陵元気号の運賃収入	回数券	円	937,000	↗ 増加	-	962,500	531,500	494,500	-	収支全体の8.4%
広陵元気号	広陵元気号の収支率		%	6.0	↗ 増加	7.0	10.1	7.0	17.9	255.7%	【計算式】 運賃収入 ÷（運行経費総額-国庫補助金）×100 ※運賃収入 5,880,920円 ※運行経費総額 55,871,420円 ※地域内フィード-系統確保維持費国庫補助金 23,074,000円
広陵元気号	広陵元気号の町民一人当たり負担額	-	円	1,451	↘ 減少	1,444	1,343	1,665.9	770.0	146.7%	【計算式】（運行経費総額-運賃収入-国庫補助金）÷人口 ※運行経費総額 55,871,420円 ※運賃収入 5,880,920円 ※地域内フィード-系統確保維持費国庫補助金 23,074,000円 ※人口34,957人（令和7年3月末時点）
広陵元気号	広陵元気号の近鉄大和高田駅接続便数	-	便	26	→ 維持	26	26	20	20	76.9%	令和5年7月の運行再編に伴い、南部支線で乗り入れていた分が減便。
広陵元気号	無関心層の取り込み(各種イベントや政策間連携時や再編時に無料乗車券を配布)	無料乗車券回収枚数	枚	1,250	↗ 増加	1500	441	153	271	18.1%	計画策定時は広報紙等による配付を実施 R6：広陵元気塾、イベントで無料乗車券を配付
連携強化	近隣自治体等との連携（乗入・乗継）数（累計）	-		1	↗ 増加	2	1	3	4	200.0%	①大和高田駅、②国保中央病院、③コープなんごう ④シェアサイクルにおける北葛城郡4町との連携
連携強化	交通事業者との連携・協働による公共交通の活用に 向けた啓発活動回数（バスの乗り方教室）	-	回	5	↗ 増加	10	5	7	8	80.0%	奈良交通株式会社や株式会社愛和との協働により、小学校でのバスの 乗り方教室を5回開催及びイベントでの利用促進を2回実施 トヨタユナイテッド奈良との連携による公共交通の利用促進
連携強化	公民連携事業数（累計）	-	事業	0	↗ 増加	1	0	0	3	300.0%	①妊産婦タクシーチケット交付事業、②シェアサイクル事業、 ③陣痛タクシーサービス
連携強化	商業施設との連携数（累計）	-	事業者	4	↗ 増加	6	5	8	8	133.3%	詳細は資料2-1「●広陵元気号利用ポイントカードの配付」を参照
連携強化	商業施設との連携事業数（累計）	-	事業	1	↗ 増加	6	1	2	3	50.0%	ポイントカード、広陵元気号の乗り入れ R6：シェアサイクルステーションの設置
連携強化	広陵元気号ポイントカード回収枚数	-	枚/年	719	↗ 増加	1,200	635	473	598	49.8%	詳細は資料2-1「●広陵元気号利用ポイントカードの配付」を参照
連携強化	政策間連携事業数（累計）	-	事業	0	↗ 増加	2	1	3	4	200.0%	①広陵元気塾、②観光部局と連携したシェアサイクル事業、③サロン 活動及び④スマホ教室におけるのーと広陵元気号の説明会開催
情報発信・啓発	広報紙による公共交通関連記事数（年間）	-	回/年	6	→ 維持	6	6	8	9	150.0%	4.6.8.9.11.12.1.2.3月号に掲載
情報発信・啓発	情報発信媒体数（累計）	-	媒体	4	↗ 増加	6	4	5	5	83.3%	広報紙、ホームページ、Facebook、LINE、のーとアプリ
情報発信・啓発	経路検索サイトへの登録数（累計）	-	サイト	5	↗ 増加	7	5	5	5	71.4%	ジョルダン、Yahoo!、NAVITIME、駅すばあと、駅探
情報発信・啓発	住民懇談会・ワークショップ等の開催数（年間）	-	回	0	↗ 増加	2	3	17	7	350.0%	区・自治会別で説明会開催（7回）
情報発信・啓発	公民連携によるICT・デジタル媒体・デジタルコンテ ンツ等の活用講座数（累計）	-	回	0	↗ 増加	5	-	3	17	340.0%	R6：スマホの使い方教室（14回）においてのーとアプリの説明を 実施
情報発信・啓発	モビリティ・マネジメントの実施回数	-	回/年	6	↗ 増加	10	5	41	14	140.0%	区別・自治会別説明会（7回）、各小学校でのバスの乗り方教室（5 回）、イベント（2回）でMMを実施
その他	高齢者運転免許自主返納者支援事業申請者数（累	-	件	157	↗ 増加	500	316	382	455	91.0%	R6：73件

路線バスの利用者数は目標値を上回る数値（速報値）となっており、運行費補助額については、算定方法が令和4年から変更となっているが、合計した場合、目標値を上回る補助額に減少。

広陵元気号の利用目的別利用者数について、病院及び公共施設の利用者数については目標値を達成。

広陵元気号の運賃収入について、令和5年度と比較して約150万円の増額となっており、目標値を達成。

広陵元気号の収支率及び町民一人当たり負担額については、運賃収入及び国庫補助金が増額となり、運行経費が令和5年度の運行再編時より減少したため、目標値を大きく上回り達成。

令和6年度は、これまで取り組めていなかった公民連携事業を積極的に取り組むことができたため、引き続き新たな公民連携事業の検討を行っていく。

令和5年度に引き続き、のーとの乗り方・操作説明会を区別・自治会別で開催したことにより、各種情報発信・啓発は積極的に実施してい